

平成26年度協働事業として選定された事業の評価

No	課名	事業名	事業期間	協働の形態 委=委託 実=実行委員会 参=市民参加 共=共催 補=補助	事業費 (千円)	事業実施に向けて										事業実施段階					事業を振り返って			備考	
						協働相手方	協働開始の時期	協働への呼びかけ	事業目的は明確か	目標を明確にしたか	協働相手選定の理由は明確か	① 事業の目的・目標を共有できたか	② 事業開始にあたって相互の役割を話し合ったか	③ 画等な立場で協力して計画づくりを進めたか	④ 相互の自主性・自立性を尊重したか	⑤ 十分に話し合い役割分担を明確にしたか	⑥ 進捗状況や事業に関する情報を共有できたか	⑦ 進捗状況をチェックし、必要に応じて修正したか	⑧ 取次にコミュニケーションを取ったか	⑨ 情報をわかりやすく公開したか	⑩ お互いの信頼関係を築けたか	⑪ 事業の目的・目標を達成できたか	⑫ 課題と改善策を話し合ったか		平均点
1	議会事務局	声の市議会だより作成委託	4月～2月	委	69	音訳ボランティアグループ 福生いとでんわ	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	CD作成枚数 13枚			
		協働理由	市民団体の特性を活かす	事業の概要	年4回発行の市議会だよりの内容を音訳し、視覚障害者1・2級の登録者にデジラー方式により音訳したCD版を送付し、議会情報の提供を行う。	課題	この事業について、幅広く周知を図り利用者を上げていくことが課題。対象者に対して積極的に周知を図りたいが、対象者の把握については、個人情報保護の観点から難しい。																		
2	総務課	平和のつどい(平和祈念事業)	5月～8月	実	227	平和のつどい企画委員会	行政評価	Y	Y	Y	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4.0	講演会238人参加				
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援	事業の概要	「市民が語る福生・語り継ぐ昭和」と題して、市民会館小ホールで実施。講演、演奏を行った。	課題	若年層の参加が少ない。戦争体験を語れる方が少なくなっている。																		
3	安全安心まちづくり課	自主防災組織の運営補助	4月～3月	補	5,800	自主防災組織	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	4	5	5	4.8	H26総合防災訓練で自主防災組織は1,397人参加、自主防災リーダー講習会 55人参加				
		協働理由	コミュニティの形成や展開を支援	事業の概要	34地区の自主防災組織に対し、組織の円滑な運営のために必要な補助金の交付を行い、災害時等の意識の高揚を図る。	課題																			
4	安全安心まちづくり課	避難誘導標識の設置と維持管理	4月～3月	委	0	NPO法人 都市環境標識協会	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	4	5	4.9	市内設置数6基				
		協働理由	市民団体の特性を活かす	事業の概要	避難誘導標識等の設置及び維持管理等を、民間企業等の地域貢献の協賛金などを活用することにより、市の費用負担なしで設置及び維持管理する。	課題	協賛金による新規設置を行うことができなかった。																		
5	安全安心まちづくり課	交通安全推進指導	4月～3月	委	7,884	交通安全推進委員会、町会・自治会	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	交通安全推進委員会委員 98人 交通安全講習会2回実施				
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援	事業の概要	福生市交通安全推進委員会、福生市町会長協議会へ交通安全の推進を委託し、更なる交通事故の減少を図る。	課題																			
6	安全安心まちづくり課	各種防犯活動	4月～3月	参	0	防犯連絡所活動推進員、女性防犯指導員	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	4	5	5	4	4	4.6	防犯講習会 75人参加					
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援	事業の概要	防犯連絡所活動推進員及び女性防犯指導員による自転車防犯対策、各種防犯活動、防犯講習会の開催等を行う。	課題																			
7	安全安心まちづくり課	自主防犯パトロール	4月～3月	参	0	町会・自治会	行政評価	Y	Y	Y	5	4	4	4	4	4	3	3.8	34町会・自治会のうち32団体実施						
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援	事業の概要	地域の安全を守るため各町会・自治会での自主的なパトロールの実施。	課題	町会・自治会にまかせっきりになってしまっているため、もう少し関わりを持つよう改善を考えている。																		
8	安全安心まちづくり課	子ども110番の家	4月～3月	参	0	市民ボランティア	行政評価	Y	Y	Y	3	3	4	4	3	3	4	3.3	登録者 1,020軒						
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援	事業の概要	子どもが身の危険を感じたときに、助けを求めるとの出来る緊急避難場所として民家や商店等を指定し、子どもを犯罪から守る。	課題	登録者が横ばいになってしまっている。																		

No	課名	事業名	事業期間	協働の形態 委=委託 実=実行委員会 参=市民参加 共=共催 補=補助	事業費 (千円)	事業実施に向けて										事業実施段階					事業を振り返って			備考	
						協働相手方	協働開始の時期	協働への呼びかけ	事業目的は明確か	目標を明確にしたか	協働相手選定の理由は明確か	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫		平均点
												Y=はい N=いいえ	1:できなかった 4:ある程度できた	2:どちらかといえばできなかった 5:よくできた	3:どちらかといえばできた	4	4	4	4	4	4	4	4		
9	シテイセールス推進課	自由広場フリーマーケット	6月～3月	実	0	自由広場フリーマーケット実行委員会	企 行	行政評価 協働相手評価	Y Y Y Y Y Y	4 5 3 4 4 5 3 4	4 4 4 4 4 4 4 4	4 4 4 4 4 4 4 4	4 4 4 4 4 4 4 4	4 4 4 4 4 4 4 4	4 4 4 4 4 4 4 4	4 4 4 4 4 4 4 4	4 4 4 4 4 4 4 4	4 4 4 4 4 4 4 4	4.1	全4回(6・9・12・3月)					
		協働理由	コミュニティの形成や展開を支援		事業の概要	自立した消費者の育成を図るため、市民及び民間団体を主体とした実行委員会に委託しフリーマーケットを年4回開催する。		課題																	
		消費者展・講演会・セミナー	4月～3月	実	122	消費者リーダー	企 行	行政評価 協働相手評価	Y Y Y Y Y Y	5 5 5 5 5 5 5 5	4 4 4 4 4 4 4 4	4 4 4 4 4 4 4 4	4 4 4 4 4 4 4 4	4 4 4 4 4 4 4 4	4 4 4 4 4 4 4 4	4 4 4 4 4 4 4 4	4 4 4 4 4 4 4 4	4 4 4 4 4 4 4 4	4.4	消費者セミナー 6回実施 参加者141人 講座4回、消費者見学会、消費者展各1回実施					
		協働理由	コミュニティの形成や展開を支援		事業の概要	消費者の啓発を図るため、消費者リーダーとの協働で、消費者セミナー、消費者展等の企画・立案をし、当日の運営にあたった。		課題																	
		福生七夕まつり	8月	委・実	33,351	七夕まつり実行委員会	企 行	行政評価 協働相手評価	Y Y Y Y Y Y	4 4 4 4 4 4 4 4	4 4 4 4 4 4 4 4	4 4 4 4 4 4 4 4	4 4 4 4 4 4 4 4	4 4 4 4 4 4 4 4	4 4 4 4 4 4 4 4	4.1	人出 242,000人 ボランティア参加者 延べ約500人								
		協働理由	コミュニティの形成や展開を支援		事業の概要	実行委員会のもと、飾りつけ部会、模擬店部会、イベント部会が中心となり、ボランティア・市民を巻き込んだ形で実施した。		課題																	
		ふっさ桜まつり	12月～4月	補・実	5,632	桜まつり実行委員会	企 行	行政評価 協働相手評価	Y Y Y Y Y Y	5 4 5 5 5 4 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	4 4 4 4 4 4 4 4	4.8	人出 44,500人 実行委員会 3回実施					
		協働理由	コミュニティの形成や展開を支援		事業の概要	桜の開花に合わせて、各種のイベント等を実施し、観光客の誘致を図り、商工業振興に寄与する。		課題	市が運営業務全般を行っているため、本来の協働でなく、事務局主導型の事業になってしまう傾向がある。																
		ほたる祭	6月	補	3,066	熊牛町会ほたる祭実行委員会	企 行	行政評価 協働相手評価	Y Y Y Y Y Y	4 3 2 3 4 3 2 3	3 3 3 3 3 3 3 3	3 3 3 3 3 3 3 3	3 3 3 3 3 3 3 3	3 3 3 3 3 3 3 3	3 3 3 3 3 3 3 3	3 3 3 3 3 3 3 3	3 3 3 3 3 3 3 3	3 3 3 3 3 3 3 3	3.1	人出 35,000人					
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	毎年6月中旬に行われる「ほたる祭」に対して、観光、地域振興を図るため、観光事業補助金を交付し支援を行う。		課題	対外的な問合せ先が「くみるふっさ」になっていたが、実行委員会との情報連携が十分にとれなかった。																
		剪定枝等破砕機管理委託	4月～3月	委	20	グリーンクラブ福生	企 行	行政評価 協働相手評価	Y Y Y Y Y Y	5 5 5 5 5 5 5 5	5 4 4 4 5 4 4 4	4 4 4 4 4 4 4 4	4 4 4 4 4 4 4 4	4 4 4 4 4 4 4 4	4 4 4 4 4 4 4 4	4 4 4 4 4 4 4 4	4 4 4 4 4 4 4 4	4 4 4 4 4 4 4 4	4.5	貸出し実績 4件 年1回 総合整備、点検、清掃を実施					
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	剪定枝等破砕機の貸出し、整備、保守点検等を委託し、市内農業者の農業活動に役立てる。		課題	周知は行っているが、元々利用する農家数が限られているため、利用が低調。																
市民農園管理	4月～3月	共	1,543	市民農園使用者協力会	実 行	行政評価 協働相手評価	Y Y Y Y Y Y	5 5 4 5 5 5 5 4	4 4 5 4 4 4 5 4	4 4 5 4 4 4 5 4	4 4 5 4 4 4 5 4	4 4 5 4 4 4 5 4	4 4 5 4 4 4 5 4	4 4 5 4 4 4 5 4	4 4 5 4 4 4 5 4	4 4 5 4 4 4 5 4	4.4	8箇所 548区画 513人							
協働理由	広く市民相互の支えあいを支援		事業の概要	市内8箇所の市民農園を、2年間を期間として貸出し、運営を使用者の団体である協力会が行う。		課題	肥料の臭気や違法駐車等の苦情への対応。																		
市民エキストラ登録制度	4月～3月	参	0	市民ボランティア	実 行	行政評価 協働相手評価	Y Y Y Y Y Y	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5.0	市民エキストラ登録人数138人 撮影参加実績10件							
協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	市民エキストラとして事前登録し、市内で行われるロケ撮影に市民ボランティアとして参加してもらう。		課題																			
17	環境課	廃棄物減量等の推進	4月～3月	実	430	廃棄物減量等推進員	実 行	行政評価 協働相手評価	Y N Y Y N Y	4 4 4 4 4 4 4 4	4 4 4 4 4 4 4 4	4 4 4 4 4 4 4 4	4 4 4 4 4 4 4 4	4 4 4 4 4 4 4 4	4.0	廃棄物減量等推進員会議 3回開催									
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援		事業の概要	廃棄物減量等推進員と協働して、廃棄物の減量を推進していく。		課題																	
18	環境課	花いっぱい運動	5月・11月	委・参	667	ふっさ花とみどりの会	実 行	行政評価 協働相手評価	Y Y Y Y Y Y	4 4 4 3 4 4 4 4	3 5 4 4 4 4 4 4	4 4 5 4 4 4 4 4	4 4 4 4 4 4 4 4	4 4 4 4 4 4 4 4	4 4 4 4 4 4 4 4	4 4 4 4 4 4 4 4	4 4 4 4 4 4 4 4	4.0	会議7回実施 登録者参 22人						
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援		事業の概要	街角、通学路、公園、広場等に、花の苗の植栽を行い、緑化と美化を進める配布型花いっぱい運動に加えて、多摩川中央公園のコスモス畑をフラワーゾーンとして、その管理運営を市民との協働で実施。		課題	会員の高齢化による作業効率の低下が課題、若い会員の加入が望まれる。事務局の負担が大きい。市民の協力が得られるよう活動の積極的なPRが必要。																
19	環境課	福生スクラムマイナス50%事業	4月～3月	実	0	福生スクラム・マイナス50%協議会	企 行	行政評価 協働相手評価	Y Y Y Y Y Y	4 3 3 4 4 4 4 4	3 4 4 4 4 4 4 4	4 4 4 4 4 4 4 4	4 4 4 4 4 4 4 4	4 4 4 4 4 4 4 4	4 4 4 4 4 4 4 4	4 4 4 4 4 4 4 4	3 3 3 3 4 4 4 4	3.7	緑のカーテン大作戦 講習会 参加者32人 コンテスト応募15組 ゴーヤ苗配布600人						
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	2030年までに、市内から排出される二酸化炭素を50%削減(2004年比)するという目標を達成するため、主に啓発事業を主催する。		課題	協議会のメンバーが多忙なため、日程の調整に苦慮している。																
20	環境課	かんきょう通信編集会議	4月～3月	参	0	かんきょう通信市民編集委員	実 相	行政評価 協働相手評価	Y Y Y Y Y Y	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	4 4 4 4 4 4 4 4	4.9	年2回発行 各29,000部									
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	市民への環境に対する意識啓発及び環境事業等のPR。		課題	幅広い年齢層の男女で編集員の構成を望んでいるが、青年の参加が少ない。																

No	課名	事業名	事業期間	協働の形態 委=委託 実=実行委員会 参=市民参加 共=共催 補=補助	事業費 (千円)	事業実施に向けて										事業実施段階					事業を振り返って			備考
						協働相手方	協働開始の時期	協働への呼びかけ	事業目的は明確か	目標を明確にしたか	協働相手選定の理由は明確か	① 事業の目的・目標を共有できたか	② の事業開始にあたって相互の役割を話し合ったか	③ 画等な立場で協力して計画を進めたか	④ 相互の自主性・自立性を尊重したか	⑤ 十分に話し合い役割分担を明確にしたか	⑥ を共有できたか	⑦ 進捗状況を正しく把握し、必要に応じて修正したか	⑧ 取ったコミュニケーションを	⑨ か情報をわかりやすく公開したか	⑩ お互いの信頼関係を築けたか	⑪ た事業の目的・目標を達成できたか	⑫ 課題と改善策を話し合ったか	
21	環境フェスティバル委託	11月～7月	委・実・参	1,500	協働相手方	協働開始の時期	協働への呼びかけ	事業目的は明確か	目標を明確にしたか	協働相手選定の理由は明確か	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	平均点	備 考
		協働理由	市民団体の特性を活かす	事業の概要	環境月間の6月に多摩川中央公園を会場に、環境意識の啓発、自然観察会等体験型プログラムを企画し開催。	行政評価	協働相手評価	Y	Y	Y	4	4	5	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4.8
22	水辺の楽校運営委託	4月～3月	委・実	1,400	協働相手方	協働開始の時期	協働への呼びかけ	事業目的は明確か	目標を明確にしたか	協働相手選定の理由は明確か	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	平均点	備 考
		協働理由	市民団体の特性を活かす	事業の概要	国土交通省の水辺の楽校プロジェクトに基づき、多摩川の水辺で子どもたちのための自然体験の場、遊び場を作る。	行政評価	協働相手評価	Y	Y	Y	4	5	5	5	5	4	5	5	4	5	4	4	4	4.6
23	市民環境大学運営委託	4月～3月	委	708	協働相手方	協働開始の時期	協働への呼びかけ	事業目的は明確か	目標を明確にしたか	協働相手選定の理由は明確か	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	平均点	備 考
		協働理由	市民団体の特性を活かす	事業の概要	NPO法人自然環境アカデミー	行政評価	協働相手評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0
24	環境学習教員研修	8月	参	51	協働相手方	協働開始の時期	協働への呼びかけ	事業目的は明確か	目標を明確にしたか	協働相手選定の理由は明確か	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	平均点	備 考
		協働理由	市民団体の特性を活かす	事業の概要	市民・NPO法人自然環境アカデミー	行政評価	協働相手評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	3	5	5	5	5	5	4.8
25	環境マネジメントシステム市民監査委員	8月～7月	参	851	協働相手方	協働開始の時期	協働への呼びかけ	事業目的は明確か	目標を明確にしたか	協働相手選定の理由は明確か	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	平均点	備 考
		協働理由	市民団体の特性を活かす	事業の概要	市民ボランティア及び市内事業者	行政評価	協働相手評価	Y	Y	Y	3	5	5	5	4	5	5	4	5	4	5	4	4	4.6
26	地域猫制度	4月～3月	補・参	702	協働相手方	協働開始の時期	協働への呼びかけ	事業目的は明確か	目標を明確にしたか	協働相手選定の理由は明確か	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	平均点	備 考
		協働理由	市民団体の特性を活かす	事業の概要	福生地域ネコの会・福東野良ネコ対策委員会・西多摩ネコの会	行政評価	協働相手評価	Y	Y	Y	4	5	5	4	4	4	4	3	4	4	4	4	4	4.2
27	湧水調査	4月～3月	参	0	協働相手方	協働開始の時期	協働への呼びかけ	事業目的は明確か	目標を明確にしたか	協働相手選定の理由は明確か	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	平均点	備 考
		協働理由	市民団体の特性を活かす	事業の概要	法政大学山崎ゼミナール	行政評価	協働相手評価	Y	Y	Y	5	5	4	4	5	5	4	5	4	4	4	4	4	4.6
28	カワラノギク保全活動	6月～10月	参	700	協働相手方	協働開始の時期	協働への呼びかけ	事業目的は明確か	目標を明確にしたか	協働相手選定の理由は明確か	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	平均点	備 考
		協働理由	市民団体の特性を活かす	事業の概要	市民ボランティア及び市内事業者	行政評価	協働相手評価	Y	Y	Y	5	4	2	5	4	4	3	4	4	4	5	4	4	4.0
29	男女共同参画情報誌作成	4月～3月	委・参	1,204	協働相手方	協働開始の時期	協働への呼びかけ	事業目的は明確か	目標を明確にしたか	協働相手選定の理由は明確か	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	平均点	備 考
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援	事業の概要	市民編集員	行政評価	協働相手評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	4	5	5	5	5	5	5	5.0
30	男女共同参画啓発物作成	4月～3月	参	0	協働相手方	協働開始の時期	協働への呼びかけ	事業目的は明確か	目標を明確にしたか	協働相手選定の理由は明確か	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	平均点	備 考
		協働理由	市民団体の特性を活かす	事業の概要	市民活動団体	行政評価	協働相手評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0
31	福東会館管理業務委託	4月～3月	委	3,022	協働相手方	協働開始の時期	協働への呼びかけ	事業目的は明確か	目標を明確にしたか	協働相手選定の理由は明確か	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	平均点	備 考
		協働理由	市民団体の特性を活かす	事業の概要	福東町会	行政評価	協働相手評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0
32	福東会館清掃委託	4月～3月	委	268	協働相手方	協働開始の時期	協働への呼びかけ	事業目的は明確か	目標を明確にしたか	協働相手選定の理由は明確か	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	平均点	備 考
		協働理由	市民団体の特性を活かす	事業の概要	NPO法人 青少年自立援助センター	行政評価	協働相手評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	4	3	5	4	5	5	5.0
33	地域コミュニティ活性化の推進	4月～3月	補	570	協働相手方	協働開始の時期	協働への呼びかけ	事業目的は明確か	目標を明確にしたか	協働相手選定の理由は明確か	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	平均点	備 考
		協働理由	コミュニティの形成や展開を支援	事業の概要	福生市町会長協議会	行政評価	協働相手評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4	4	4	4	4.8

No	課名	事業名	事業期間	協働の形態 委=委託 実=実行委員会 参=市民参加 共=共催 補=補助	事業費 (千円)	事業実施に向けて										事業実施段階					事業を振り返って			備考	
						協働相手方	協働開始の時期	協働への呼びかけ	事業目的は明確か	目標を明確にしたか	協働相手選定の理由は明確か	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫		平均点
												Y=はい N=いいえ	1:できなかった 4:ある程度できた	2:どちらかといえばできなかった 5:よくできた	3:どちらかといえばできた	5	4	4	5	4	4	5	4		
34	障害福祉課	心身障害者一時保護施設運営費等補助金	4月～3月	補	825	福生市手をつなぐ親の会	実	行	行政評価 協働相手評価	Y Y Y Y Y Y	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5	5 4 4 4	4 5 4 5	4 4 4 4	5 4 5 4	4 4 4 4	4 4 4 4	4.6	宿泊者数等 184人					
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	在宅の心身障害者の夜間における一時保護及び社会的自立に向けた訓練等の運営費の一部を補助することにより、心身障害者福祉の推進を図る。		課題																	
		各種団体補助金	4月～3月	補	238	福生市手をつなぐ親の会 福生市身体障害者福祉協会	実	行	行政評価 協働相手評価	Y Y Y Y Y Y	5 5 4 4 5 5 4 4	4 4 4 4	4 5 4 5	4 4 4 4	4 4 4 4	4.3	理事会12回、研修、合同運動会等実施								
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援		事業の概要	知的障害者、身体障害者及びその家族で構成されている会に対し、その運営費(各種行事、研修等)の一部を補助することにより、障害者の社会参加を促進する。		課題																	
35	障害福祉課	精神障害者グループホーム運営補助金	4月～3月	補	1,956	NPO法人グループホームけやき	実	行	行政評価 協働相手評価	Y Y Y Y Y Y	5 5 5 5 5 5 5 5	4 4 5 5	4 4 4 4	5 4 5 4	4 4 4 4	4.4	登録者数 5人								
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	NPO法人グループホームけやきに対し、その運営費の一部を補助することにより、精神障害者の地域社会における生活の場を確保し、自立と社会参加を促進する。		課題																	
36	障害福祉課	障害者地域自立支援協議会	4月～3月	実	46	障害者(児)関連団体	実	行	行政評価 協働相手評価	Y Y Y Y Y Y	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5	5 5 5 5	4 5 4 5	5 5 5 5	4.9	協議会 6回開催								
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援		事業の概要	障害者(児)が地域における自立した生活や社会生活が営めるよう地域での福祉に関する課題等につき、連絡調整・対応策等の検討を含め障害福祉のネットワークを推進する。		課題	平成26年度中に立ち上がった、福生市障害者福祉サービス指定事業所連絡会と協力し、更なる障害福祉ネットワークの推進が課題である。																
37	障害福祉課	ボランティア活動推進事業	4月～3月	補	12,455	福生市社会福祉協議会	実	行	行政評価 協働相手評価	Y Y Y Y Y Y	4 4 4 5 4 4 4 5	5 5 5 5	4 4 4 4	5 5 5 5	5 4 5 4	4.5	登録団体数:161団体、登録者数:5,720人								
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	社会福祉協議会が行っている「ふっさボランティア・市民活動センター」の運営に必要な経費を補助し、福祉の分野におけるボランティア活動の拡大を図る。		課題																	
38	介護福祉課	敬老大会ボランティア	9月	参	0	市民ボランティア	実	行	行政評価 協働相手評価	Y Y Y Y Y Y	5 4 5 5 5 4 5 5	5 5 5 5	5 5 5 5	4 4 4 4	5 4 5 4	4.8	敬老大会 来場者数:約1,000人 公募ボランティア:1名								
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援		事業の概要	市民会館大ホールで行われる敬老大会の会場整理等を公募によるボランティアにお願いしている。		課題																	
39	介護福祉課	地域福祉推進事業	4月～3月	補	5,738	NPO法人ケアサービスいずみ	実	行	行政評価 協働相手評価	Y Y Y Y Y Y	5 4 4 4 5 4 4 5	5 5 5 5	4 4 4 4	4 5 4 5	4.4	有償家事援助サービス 890件 1,131.5時間 移送サービス 290件 3,282km									
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	NPO法人が実施する高齢者等に対する家事援助事業及び移送事業等の福祉サービスに対し、財政支援を在宅サービスの確保を図る。		課題	登録会員の増員。																
40	介護福祉課	在宅福祉活動ボランティア	4月～3月	補	1,205	福生市社会福祉協議会	実	行	行政評価 協働相手評価	Y Y Y Y Y Y	5 5 4 5 5 5 4 5	5 5 5 5	5 5 5 5	5 5 5 5	4.9	利用者数 191人 利用回数 188回、運転ボランティア 197人、走行距離 4,161km									
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援		事業の概要	運転ボランティアが運転するリフトカーにより、歩行困難な高齢者等に社会参加や地域とのふれあいを図る事業への参加の機会を確保する。		課題	運転ボランティアの高齢化																
41	介護福祉課	介護サポーター事業	4月～3月	参	255	市民ボランティア	実	行	行政評価 協働相手評価	Y Y Y Y Y Y	5 4 4 5 4 4 4 5	5 5 5 5	4 4 4 4	4 5 4 5	4.3	登録者数 40人 交付給付者数 9人									
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援		事業の概要	市内の介護施設等で介護サポーター活動をしていただき、1年後にポイントに応じて交付金を給付する。		課題	介護サポーター登録者の増員。																
42	健康課	健康ふっさ21事業	4月～3月	参	469	健康づくり推進員	企	行	行政評価 協働相手評価	Y Y Y Y Y Y	4 4 4 5 4 4 4 4	5 5 4 4	5 5 4 4	4 3 4 4	4.6	推進員登録者数104人									
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	福生市健康づくりプラン「健康ふっさ21」に基づき、市民の健康づくりの活動、啓発活動等を行う。		課題	全員が活発に活動している状態ではないため、推進員全員での健康づくりの目標の共有化が図りづらい。																
43	健康課	健康まつり	11月	参	3,195	各種団体、市民ボランティア	実	行	行政評価 協働相手評価	Y Y Y Y Y Y	4 5 4 4 4 4 4 4	5 5 4 3	5 5 4 4	5 5 4 4	4.8	11月2日(日)開催 来場者数9,500人									
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	市民の健康に対する意識の向上等を目的に、産業祭や文化祭と連携して「福生ふれあいフェスティバル」として実施。		課題	ボランティアでの活動のため、参加人数等のばらつきがある。																

No	課名	事業名	事業期間	協働の形態 委=委託 実=実行委員会 参=市民参加 共=共催 補=補助	事業費 (千円)	事業実施に向けて										事業実施段階					事業を振り返って			備考
						協働相手方	協働開始の時期	協働への呼びかけ	事業目的は明確か	目標を明確にしたか	協働相手選定の理由は明確か	① 事業の目的・目標を共有できたか	② の事業開始にあたって相互役割を話し合ったか	③ 画等な立場で協力して計画を進めたか	④ 相互の自主性・自立性を尊重したか	⑤ 十分に話し合い役割分担を明確にしたか	⑥ 進捗状況や事業に関する情報を共有できたか	⑦ 進捗状況をチェックし、必要に応じて修正したか	⑧ 常にコミュニケーションを取ったか	⑨ 情報をわかりやすく公開したか	⑩ お互いの信頼関係を築けたか	⑪ た事業の目的・目標を達成できたか	⑫ 課題と改善策を話し合ったか	
45	プレイパーク(冒険遊び場)を考える会	4月～3月	参	215	プレイパーク(冒険遊び場)を考える会	企 行	行政評価	Y Y Y	4 4 5 5	5 5	5 5	5 5	5 5	5 5	5 5	5 5	5 5	5 5	4.4	会員数11人 検討会10回実施				
		協働理由	市民団体の特性を活かす	事業の概要	子どもたちが自由な発想で楽しく安全に遊べるプレイパークを創設するために、様々な観点から検討を行う。	課題	1日プレイパークを試験的に実施した結果、地域との調整や予算の調達、人材確保・育成など運営面での課題がでた。																	
46	赤ちゃんはじめての絵本事業	4月～3月	参	592	図書館ボランティア	企 行	行政評価	Y Y Y	5 5 5 5	5 5	5 5	5 5	5 5	5 5	5 5	5 5	5 5	5.0	417人に絵本の贈呈。					
		協働理由	市民団体の特性を活かす	事業の概要	3～4か月児健康診査時の際、絵本を贈呈し地域のボランティアによる読み聞かせを行う。	課題	3種類から1つを選択してもらい贈呈しているが、人気のあるものとそうでないものがある。																	
47	児童館管理運営事業	4月～3月	委	96,328	NPO法人ワーカーズコープ	実 行	行政評価	Y Y Y	5 5 5 5	5 5	5 5	5 5	5 5	5 5	5 5	5 5	5.0	児童館利用者数 武蔵野台児童28,106人、田園児童館22,062人 熊川児童館24,427人						
		協働理由	市民団体の特性を活かす	事業の概要	遊びなどを通して仲間づくりや活動、子育て拠点の場として、幼児の遊びや母親等に交流の場を提供する。中・高校生の活動の支援等、居場所づくりの取組み	課題	災害時等の対応として、地域との連携、保護者との連携の体制作り。利用者の減少。																	
48	学童クラブ事業	4月～3月	委	34,061	NPO法人ワーカーズコープ	実 行	行政評価	Y Y Y	5 5 5 5	5 5	5 5	5 5	5 5	5 5	5 5	5 5	5.0	登録児童数 478人 育成日数 293日						
		協働理由	市民団体の特性を活かす	事業の概要	保護者の就労等で放課後、家庭で適切な保育を受けられない小学1年生から4年生までの児童を対象に、遊びや生活の場を提供する。	課題	放課後子ども教室(ふっさっ子の広場)との連携を検討する必要がある。																	
49	子育て支援課	ファミリー・サポート・センター事業	4月～3月	参	2,695	市民ボランティア	企 相	行政評価	Y Y Y	5 5 5 5	4 5	5 5	4 4	4 4	4 4	4.6	依頼会員 98人 提供会員 45人 両方会員3人 活動実績 927回							
		協働理由	コミュニティの形成や展開を支援	事業の概要	地域において育児の支援をしてほしい方(依頼会員)と、育児の援助をしたい方(提供会員)が会員となり、地域の中で助け合いながら子育て(育児に関する相互援助活動)をする会員組織。ファミリー・サポート・センターには相互援助活動の調整をするアドバイザーを配置している。	課題	市民のニーズに応えられるように提供会員を増やすこと。																	
50	まちづくり計画課	景観づくりの取組み	4月～3月	共	0	まちづくり景観推進連絡会	企 行	行政評価	Y Y Y	5 5 5 5	5 5	5 5	5 5	5 5	5 5	5.0	推進連絡会 毎月1回開催 景観フォーラム開催 参加者35人							
		協働理由	市民団体の特性を活かす	事業の概要	まちづくり景観推進連絡会と市が協働して、福生市全体の景観まちづくりを考え、歴史ある景観を保全する。	課題	会議の出席率があがらず、出席メンバーが固定されている。																	
51	屋外違反広告物撤去	4月～3月	参	0	市民ボランティア	企 行	行政評価	Y Y Y	4 4 4 4	4 4	4 4	4 4	4 4	4 4	4.0	17団体 114人登録 撤去枚数403枚								
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援	事業の概要	道路上の屋外違反広告物の撤去作業を、市民と市が協働で活動することにより、市道の適正な管理に努めていく。	課題	ボランティアメンバーの道路作業上に於ける交通安全確保が懸念される。継続したメンバーの育成を考えていく。																	
52	道路美化ボランティア	4月～3月	参	0	市民ボランティア	企 行	行政評価	Y Y Y	4 4 4 4	4 4	4 4	4 4	4 4	4.0	18団体 373人のボランティア会員									
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援	事業の概要	道路への美観風致を維持し、歩行空間の確保及び良好な維持・向上を図るため、市民と市が協働で活動し、市道の適正な管理に努める。	課題	ボランティアの道路内作業に於ける交通安全上の問題が危惧される。継続したメンバーの育成を考えていく。																	
53	萌芽会活動	4月～3月	参	5	福生萌芽会	企 行	行政評価	Y Y Y	5 5 5 5	5 5	5 5	5 5	5 5	5.0	14回開催 会員数30人 参加者数 延べ161人									
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援	事業の概要	福生市内の豊かな生態系の雑木林の再生を目指して、ワークショップ方式による市民参加型のボランティアにより、萌芽更新を実施する。	課題	萌芽会メンバーの高齢化、後継者の育成。樹木の計画的な伐採。																	
54	公園ボランティア制度	4月～3月	参	36	市民ボランティア	実 行	行政評価	Y Y Y	4 4 4 4	4 4	4 4	4 4	4 4	4.0	414人、10団体登録 39公園									
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援	事業の概要	公園ボランティアが行う公園内の環境美化活動を推進する。	課題	約半数の公園ではボランティア登録者がいない。																	
55	花いっぱい運動	4月～3月	参	0	市民ボランティア	実 行	行政評価	Y Y Y	5 5 5 5	4 4	4 4	4 4	4 4	4.3	年1回実施 参加者5人									
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援	事業の概要	公園ボランティアに登録している団体及び個人が多摩川中央公園において花植え作業を行う。	課題	参加者が減少傾向にある。																	
56	ほたる公園管理委託	4月～3月	委	966	福生ホテル研究会	企 相	行政評価	Y Y Y	4 4 3 3	3 4	3 3	3 4	3 3	3.3	水質・水温管理(365日) 流れ清掃(年6回)、ほたる観察122日									
		協働理由	市民団体の特性を活かす	事業の概要	ほたる公園ドーム内、水質・水温調査、ドーム内外流れ清掃、調査観察等の業務を行う。	課題	市のバックアップの要素が大きな割合を占めている。																	

No	課名	事業名	事業期間	協働の形態 委=委託 実=実行委員会 参=市民参加 共=共催 補=補助	事業費 (千円)	事業実施に向けて										事業実施段階					事業を振り返って			備考	
						協働相手方	協働開始の時期	協働への呼びかけ	事業目的は明確か	目標を明確にしたか	協働相手選定の理由は明確か	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫		平均点
												Y=はい N=いいえ	1:できなかった 4:ある程度できた	2:どちらかといえばできなかった 5:よくできた	3:どちらかといえばできた	5	5	5	5	5	5	5	5		
57	選挙管理 委員会事務局	選挙啓発誌「白ばら」企画編集	8月～11月	共	334	福生市明るい選挙推進協議会	企	他	行政評価 協働相手評価	Y Y Y Y Y Y	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5.0 5.0	発行回数年1回、編集会議3回、編集員10人 配布枚数 28,857枚					
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	年度中における選挙終了後、啓発誌「白ばら」を年一回発行する。					課題														
58	選挙管理 委員会事務局	投票啓発	11月～1月	共	236	福生市明るい選挙推進協議会	企	他	行政評価 協働相手評価	Y Y Y Y Y Y	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5.0 5.0	選挙啓発 4回実施					
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	成人式会場での常時啓発と、駅頭等やのぼり旗の掲出及び市内全域を広報車による選挙時啓発を実施。					課題														
59	教育委員会 庶務課	校舎・校庭の簡単な修繕	4月～3月	参	138	PTA・市民ボランティア	企	他	行政評価 協働相手評価	Y Y Y Y Y Y	4 4 4 4 4 4 4 4	4 4 4 4 4 4 4 4	4 4 4 4 4 4 4 4	5 4 4 4 5 4 4 4	4 4 4 4 4 4 4 4	4 4 4 4 4 4 4 4	4.2 ###	小学校1校、中学校2校実施。 児童・生徒、保護者、教職員、市民等計262人参加							
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援		事業の概要	安全で衛生的な学校施設として整備するため、児童・生徒、保護者、教職員、市民等が、学校内外の清掃や塗装等の環境美化及び簡易な修繕を実施する。					課題														
60	指導室	学習指導市民講師	4月～3月	委	234	市民ボランティア、NPO	企	行	行政評価 協働相手評価	Y Y Y Y Y Y	4 4 3 3 4 4 3 3	4 4 3 3 4 4 3 3	3 4 3 4 3 4 3 4	4 4 3 4 4 4 3 4	4 4 3 4 4 4 3 4	3.6 ###	実施回数 78回、登録者数 36人								
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	地域の人材を活用した学習指導講師					課題	現在、小学校においては総合的な学習の時間を中心に、中学校においては教科・課外学習で活用している。新学習指導要領の改定により、授業時間数が増えるので、各学校での有効な活用方法の検討が必要となる。													
61	指導室	アドバイザースタッフ	4月～3月	委	150	市民ボランティア・大学生((社)学術・文化・産業ネットワーク多摩)	企	行	行政評価 協働相手評価	Y Y Y Y Y Y	4 4 3 3 4 4 3 3	4 4 3 3 4 4 3 3	3 4 3 4 3 4 3 4	4 4 3 4 4 4 3 4	4 4 3 4 4 4 3 4	3.6 ###	実施回数 150回、登録者数 10人								
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	教育相談室、学校及び家庭における生徒等に対する話し相手、遊び相手としての援助、その他教育相談のために必要なことを行う。					課題	協働相手が個人のため、全体の計画を共通理解・認識して事業展開を図ることが難しい。													
62	生涯学習推進課	成人式の開催	9月～1月	実・参	1,186	成人式実行委員会 市民ボランティア(新成人)	実	行	行政評価 協働相手評価	Y Y Y Y Y Y	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5.0 5.0	新成人実行委員 8人 実行委員会 8回								
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援		事業の概要	「成人式式典」及び「成人のつどい」を、教育委員会と新成人による成人式実行委員会、市民ボランティアとの協働により実施する。					課題	実行委員で実際に動ける委員に限られてしまうため、一人ひとりの負担が大きかった。													
63	生涯学習推進課	ふっさっ子の広場事業	4月～3月	参	54,631	ふっさっ子の広場サポーター	実	行	行政評価 協働相手評価	Y Y Y Y Y Y	4 4 4 5 4 4 4 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	4.8 4.8	サポーター登録(7校)506人 サポーター参加者数 延べ1,142人								
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援		事業の概要	放課後、安全な見守りのもと、子どもたち一人ひとりを健やかに育てていくことを目的に、児童の健全育成を図る。					課題	各学校の「ふっさっ子の広場」で、ボランティアに来てくれる人数・内容に差がある。													
64	生涯学習推進課	地域まなびあいボランティア	4月～3月	参	0	地域まなびあいボランティア登録者	実	行	行政評価 協働相手評価	Y Y Y Y Y Y	4 3 3 4 4 3 3 4	4 3 3 4 4 3 3 4	3 3 3 4 3 3 3 4	4 4 3 4 4 4 3 4	3.4 ###	登録者 21人(団体含む) 利用実績 17件									
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援		事業の概要	地域で行事を計画している方や町会・自治会・子ども会等、地域で活動している団体に、教育委員会に登録している講師や指導員を派遣する。					課題	他のボランティアとの連携や情報共有が課題。ボランティア事業内容の新規開拓や、世代交代も必要と考える。													
65	生涯学習推進課	ふっさっ輝きフェスティバルの開催	2月～5月	実・補	800	青少年育成地区委員長会	企	行	行政評価 協働相手評価	Y Y Y Y Y Y	5 4 4 5 5 4 4 5	4 4 5 5 4 4 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	4.7 4.7	会議:理事会4回 全体会6回、関係者参加 状況:前日準備50人 当日450人									
		協働理由	コミュニティの形成や展開を支援		事業の概要	青少年の健全育成を図るとともに、家庭の日の推進を目的とし、多摩川中央公園にてイベントを開催する。					課題	金券の販売と商品提供のバランスを考えないと、商品不足や見交換の金券が発生してしまう。													
66	生涯学習推進課	軽スポーツ・とん汁会の開催	9月～11月	実・補	800	青少年育成地区委員長会	企	相	行政評価 協働相手評価	Y Y Y Y Y Y	5 4 4 5 5 4 4 5	4 5 5 5 4 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	4.8 4.8	会議:理事会4回 全体会4回、関係者参加 状況:前日準備40人 当日370人									
		協働理由	コミュニティの形成や展開を支援		事業の概要	青少年の健全育成を図るとともに、家庭の日の推進を目的とし、11月の第3日曜日に多摩川中央公園にてイベントを開催する。					課題	とん汁にお客が集まり、待たせることが多くなってしまった。													
67	生涯学習推進課	青少年海外派遣事業派遣生事前研修	6月～7月	参	0	地域まなびあいボランティア登録者	実	行	行政評価 協働相手評価	Y Y Y Y Y Y	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5.0 5.0	練習3回(1回3時間) 海外派遣生12人									
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援		事業の概要	海外派遣事業による派遣先での、相互の文化交流の一環として、日本の文化紹介のために踊りを披露する。そのための練習を行うに当たり指導いただく。					課題	派遣生の中でも得意・不得意があり、踊りをうまく踊れない人が出てしまう。													

No	課名	事業名	事業期間	協働の形態 委=委託 実=実行委員会 参=市民参加 共=共催 補=補助	事業費 (千円)	事業実施に向けて										事業実施段階					事業を振り返って			備考	
						協働相手方	協働開始の時期	協働への呼びかけ	事業目的は明確か	目標を明確にしたか	協働相手選定の理由は明確か	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫		平均点
												Y=はい N=いいえ	1:できなかった 4:ある程度できた	2:どちらかといえばできなかった 5:よくできた	3:どちらかといえばできた	4	5	5	5	5	5	5	5		
68	生涯学習推進課	学校支援地域組織事業	4月～3月	参	3,744	学校支援サポーター	実	行	行政評価 協働相手評価	Y Y Y Y Y Y	4 4 4 5 4 4 4 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	4.8 4.8	学校支援サポーター活動数 延べ 2,111人					
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援		事業の概要	各学校に学校支援コーディネーターを配置し、学校と支援者である学校支援サポーターとの連絡調整をして、学校のニーズと地域の力をつなぎ合わせコーディネートしていく。							課題	事業への理解が進みつつあるが、さらに学校や地域に学校支援地域組織事業の理解が得られるよう周知を続ける。											
69		文化財保護思想の普及事業	4月～3月	参	0	市民ボランティア	実	行	行政評価 協働相手評価	Y Y Y Y Y Y	5 4 3 3 5 4 3 3	4 3 3 3 4 3 3 3	3 5 4 5 3 5 4 5	4 5 5 4 4 5 5 4	5 5 4 4 5 5 4 4	5 5 4 4 5 5 4 4	5 5 4 4 5 5 4 4	5 5 4 4 5 5 4 4	4.0 4.0	年間12回実施 約200人参加 登録者1名					
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援		事業の概要	郷土資料室における子ども向け体験学習。市内の小学生に地域の歴史や昔の遊びなどを伝える。							課題												
70		市民総合体育大会運営	5月～2月	委	1,723	NPO法人 福生市体育協会	企	相	行政評価 協働相手評価	Y Y Y Y Y Y	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5.0 5.0	29種目 6,240人参加					
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	市民総合体育大会開催に係る事務及び各種競技大会の運営全般を実施する。							課題												
71		芝生管理業務	4月～3月	参	0	南公園グランド使用団体	企	相	行政評価 協働相手評価	Y Y Y Y Y Y	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5.0 5.0						
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	南公園グランド内の芝生を使用者からの申し出により、使用者自らが芝刈りを行う。							課題												
72		ウォーキング事業	4月～3月	参	66	ふっさウォーキング・タートルズ	企	行	行政評価 協働相手評価	Y Y Y Y Y Y	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5.0 5.0	年3回実施 参加者 各回合計 131人					
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	春・秋・新春ウォーキングの企画立案並びに実施・運営を市内ウォーキングサークル「ふっさウォーキングタートルズ」との協働により実施する。							課題												
73		中央体育館運営委託	4月～3月	委	30,873	NPO法人 福生市体育協会	企	行	行政評価 協働相手評価	Y Y Y Y Y Y	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5.0 5.0	実施事業数 40事業 全1,494回 延べ利用者数 133,975人					
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	中央体育館における受付業務、館内巡回、事業等、管理運営を委託する。							課題												
74	スポーツ振興課	各種大会派遣	4月～12月	委	809	NPO法人 福生市体育協会	企	行	行政評価 協働相手評価	Y Y Y Y Y Y	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5.0 5.0	4大会25種目 435人派遣					
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	都民体育大会ほか大会への選手派遣及び事務全般を委託する。							課題												
75		福東グランドトイレ清掃	4月～3月	参	0	福東グランド使用団体	企	相	行政評価 協働相手評価	Y Y Y Y Y Y	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5.0 5.0						
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	福東第一・第二少年野球場に併設しているトイレを利用団体の申し入れにより、使用者自らが清掃を行う。							課題												
76		ジュニアスポーツ体験・育成事業	4月～3月	委	2,003	NPO法人 福生市体育協会	企	相	行政評価 協働相手評価	Y Y Y Y Y Y	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5.0 5.0	5教室実施 参加者総数 延べ1,841人					
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	就学前児童及び小学生を対象に様々なスポーツの体験を通じ、基礎運動能力の育成及びスポーツを好きになる子どもの育成を目的に教室を開催する。							課題												
77		生活習慣病予防事業	4月～3月	委	1,157	NPO法人 福生市体育協会	企	相	行政評価 協働相手評価	Y Y Y Y Y Y	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5.0 5.0	3教室実施 参加者総数 延べ687人					
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	ウォーキング、筋力トレーニングなどの運動を通じ、自らが予防対策を講じられるようにすることを目的に年代別健康体力づくり教室を実施する。							課題												
78	公民館	本館利用者研修会	8月～3月	共	20	公民館本館利用者連絡会	企	行・相	行政評価 協働相手評価	Y Y Y Y Y Y	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	4.9 4.7	ワークショップ 参加者 39人					
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	公民館の利用者に対し、社会教育や公民館についての理解を深めるため、研修会を実施する。							課題	積極的に関わるサークル、会員をどう増やすか。											
79	公民館	市民文化教室	7月～12月	共	240	福生市文化協会	企	行・相	行政評価 協働相手評価	Y Y Y Y Y Y	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	5 5 5 5 5 5 5 5	4.7 4.5	全8コース 参加者人数 延べ 618人					
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	初心者を対象に市民文化教室を開催し、日本の伝統文化、伝統芸能にふれ、理解を深めていく。							課題	11コースを予定していたが、定員に達しないため3コースが中止となった。											

No	課名	事業名	事業期間	協働の形態 委=委託 実=実行委員会 参=市民参加 共=共催 補=補助	事業費 (千円)	事業実施に向けて										事業実施段階					事業を振り返って			備考		
						協働相手方	協働開始の時期	協働への呼びかけ	事業目的は明確か	目標を明確にしたか	協働相手選定の理由は明確か	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫		平均点	
												Y=はい N=いいえ	1:できなかった 4:ある程度できた	2:どちらかといえばできなかった 5:よくできた	3:どちらかといえばできた	5	5	5	5	5	5	5	5			5
80	夏休み自然体験教室	4月～7月	共	425	NPO法人自然環境アカデミー	企	行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4.9	事前学習、キャンプ、ふりかえり 全7回 参加者 14人
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	子ども達の次世代を担うリーダーとしての資質や能力の育成のために、登山体験のプログラムを中心に、参加者の耐性、判断力、協調性等を培うことを目的に実施する。										課題	プログラムのマンネリ化									
81	公民館のつどい	4月～12月	実	104	公民館のつどい実行委員会	企	行・相	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	準備・実行委員会 8回 延べ167人参加
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	①出会い、知り合い、交流していくために、各分野を越えた交流の場にしていききたい②公民館で活動することの意味を考えていききたい③活動し、交流しあう中で、生活や地域の課題を考えていききたい④つどいが、ひとつのきっかけとなって、後に横につながりあえる場を持ち続けていきたい。以上4つの趣旨のもと、3館合同で実施。										課題	役員だけでなく一般利用者にも、積極的に参加してもらいたい。									
82	本館まつり	4月～7月	実	0	本館まつり実行委員会	企	行・相	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	4	4	4	4	4	5	5	4.5	参加者人数 2,553人		
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援		事業の概要	公民館が事務局となり、日頃の公民館活動の発表やサークル間の交流を目標に本館まつりを実施。										課題	業者販売との競合をめぐり、実行委員会での協議、模擬店部会への情報提供が不十分だった。									
83	市民音楽祭	4月～6月	共	874	福生市音楽愛好者連絡会	企	相	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	4	5	5	5	4.9	実行委員会 4回実施 来場者926人		
		協働理由	市民団体の特性を生かす		事業の概要	福生市音楽愛好者連絡会と公民館が共催で市民音楽祭を実施。										課題	当日のアナウンス、舞台裏の進行がスムーズでない点があった。									
84	市民文化祭の開催	4月～12月	委・実	159	福生市文化協会	企	行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	4	5	5	5	5	5	4.9	参加団体数 227 来場者数 18,800人		
		協働理由	市民団体の特性を生かす		事業の概要	市内で行われている文化活動の成果を発表する機会を提供し、市民文化の向上と、潤いのある市民生活の実現に寄与する。										課題	さくら会館の展示会場がわかりにくかった。									
85	男女共同参画フォーラム	6月～3月	実	97	男女共同参画フォーラム実行委員会	企	相	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	4	4	5	5	4	4	4	4.6	実行委員会 13回 フォーラム参加者 29人	
		協働理由	コミュニティの形成や展開を支援		事業の概要	男女共同参画意識を高めることを目的として、身近な題材で参加者とともに男女共同参画社会を考える機会とする。										課題	職員の男女共同に関する理解度によって、かかわり方に差が生じる。									
86	図書館おはなし会「ぶっくん」	4月～6月	共	0	おはなしのもり	企	行	行政評価	Y	Y	Y	5	4	5	5	3	4	4	4	4	5	5	4	4.3	全小学校で1回実施 おはなしのもり19人参加	
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	子どもたちが本に親しみ、読書の普及を図るため、小学校へ訪問し1年生を対象に「お話し会」「お楽しみ会」をボランティアと協働で実施。										課題	日程調整等、迅速に行う必要がある事業だが、担当者変更の影響等で準備に時間がかかってしまった。									
87	主催事業(お話し会・お楽しみ会)	4月～3月	共	0	おはなしのもり、ポケット☆ポケット	企	行	行政評価	Y	Y	Y	5	4	5	5	3	3	3	4	4	4	4	3	3.9	おはなし会実施回数 83回	
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	月1回開催している「小学生・乳幼児向けおはなし会」等をボランティアグループとの協働で実施している。										課題	新規ボランティアの開拓。									
88	図書の配架、清掃	4月～3月	参	0	市民ボランティア	実	行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	【中央】書架整理 239回(32人) 花植え2回(3人) 【武蔵野台】書架整理 58回(1人) イベント準備(1人)	
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援		事業の概要	市民の図書館を目指し、より開かれた図書館を実現するパートナーとして図書館業務の補助、館外美化活動を実施する。										課題										
89	ヤングアダルト図書会議	4月～3月	参	0	市内の中高生	企	行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	年3回発行 17人登録	
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援		事業の概要	市内の中学生、高校生ボランティアの編集により、PR新聞を発行し、市内の各図書館、各中学校、高校図書室等で配布する。										課題	編集スタッフの不足。新規メンバーの募集。									
90	子ども家庭支援センターでのおはなし会	4月～3月	共	0	ポケット☆ポケット	企	行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	3	3	3	3	3	5	3	3.8	月1回実施 参加者総数139人		
		協働理由	市民団体の特性を活かす。		事業の概要	親子のスキンシップのひとつとして絵本の素晴らしさを知ってもらうため、子ども家庭センターで絵本・紙芝居のよみきかせや手遊びを行う。										課題	ボランティアメンバーの充実、技術向上の支援									